

## 第 32 回軽金属セミナー

### 「アルミニウム合金の組織—入門編（状態図と組織）」（第 5 回）

初心者のための「アルミニウム合金の組織—入門編（状態図と組織）」セミナーです。

テキストおよび PPT を用いて、わかりやすく講義します。

好評につき 5 回目を北陸地区で開催いたします。

工業用アルミニウム合金は、一般に、溶解・鋳造工程、均質化処理、塑性加工工程（熱間加工、冷間加工）、熱処理工程を経て製造され、これらの工程において金属組織が様々な変化し、材料特性にも大きな影響を及ぼします。このような工程における金属の液体状態と固体状態の熱的平衡関係を示すものが状態図であり、その基本を理解しておくことはアルミニウム合金の製造や研究開発において欠かすことができません。

本セミナーでは、入門編として、金属組織形成の基本である状態図とともに、上工程である溶解・鋳造工程と均質化処理における組織変化を取り上げます。この分野において経験の豊富な講師をお招きして、状態図の基礎となる相律の考え方、実際の鋳造合金組織と状態図との差異、および実用アルミニウム合金の均質化処理に伴う組織変化について、予備知識を持たない方々にも十分にご理解いただけるように、わかりやすく講義していただきます。本セミナーは毎回好評をいただいております。今回初めて、アルミニウム産業で発展し、北陸新幹線開業 1 周年を迎えた富山で開催します。状態図について学習する機会の乏しかった若手から、基礎知識の必要性を再認識しておられる中堅の技術者・研究者、アルミニウム材料を扱うユーザーの方々のご参加をお待ちしています。なお、本セミナーの理解を深めるために、アルミニウム協会ホームページ内のアルミの基礎知識 (<http://www.aluminum.or.jp/basic/index.html>) を事前にご一読いただければ幸いです。

なお、今回の入門編を受講された方は、続けて第 33 回軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織—中級編（時効析出）」（平成 28 年 7 月 8 日名古屋大学にて開催予定）、第 34 回軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織—応用編（加工・熱処理による組織変化）」（平成 28 年 9 月 2 日早稲田大学にて開催予定）の受講をお勧めします。また、非会員の方は、これを機に一般社団法人軽金属学会（正会員年会費 8,000 円、入会金なし）への入会をお勧めします。

主 催：一般社団法人軽金属学会

後 援：公益財団法人軽金属奨学会

協 賛：富山県アルミ産業協会、日本アルミニウム協会、日本マグネシウム協会、日本チタン協会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、日本材料学会、日本機械学会、日本鋳造工学会、日本塑性加工学会、軽金属製品協会、軽金属溶接協会、自動車技術会、日本ダイカスト協会、溶接学会、粉体粉末冶金協会、日本顕微鏡学会（依頼中）

日時：平成 28 年 6 月 10 日（金）10：00～17：00

場 所：富山大学工学部 大会議室（富山市五福 3190）<http://enghp.eng.u-toyama.ac.jp/others/access.html>

※上記サイトに掲載のキャンパスマップの G ZONE（工学部）の G4（管理棟）の 2 階です。

参加費：正・維持会員 8,500 円 学生会員 1,000 円 非会員 25,000 円 学生非会員 6,000 円（協賛学協会員は会員扱い）

定 員：40 名

申込先：軽金属学会ホームページ (<http://www.jilm.or.jp/>) 上部コンテンツ「シンポジウム・セミナー参加申込」からお申込みください。

問合先：一般社団法人軽金属学会（〒104-0061 東京都中央区銀座 4-2-15 Tel：03-3538-0232 Fax：03-3538-0226）

郵便振替口座番号：一般社団法人軽金属学会 00100-3-66805

プログラム：

挨拶（10：00～10：05）

一般社団法人軽金属学会 企画委員会委員長 相浦 直

1. 「状態図を読む」（10：05～12：05）

元東京大学 関 史江

合金の状態図は、温度と熱平衡にある金属が、①液体状態（液相）か固体状態（固相）か、②液相と固相との割合、③各相中の組成を図示している。状態図を活用するために、平衡状態図をわかりやすく説明する。

2. 「鋳造合金組織と状態図」（13：05～15：05）

元東京工業大学 手塚 裕康

溶融合金からの結晶の核生成、凝固過程における合金元素の分配とマイクロ組織の形成について、実際の鋳造組織と状態図とを比較し講義する。

3. 「均質化処理に伴う組織変化」（15：20-17：00）

一般社団法人軽金属学会 技術参与 浅見 重則

アルミニウム合金鋳塊には通常、凝固時に形成されたマイクロ偏析を解消するため、高温に保持する均質化処理が施される。均質化処理時には、マイクロ偏析の均質化のみならず、マトリックス（母相）中での元素の析出・再固溶、晶出物（金属間化合物）の分散・相変態などが生じる。均質化処理に伴うこれらの組織変化について、状態図とも関連付けて説明し、併せて組織変化が材料特性に及ぼす影響について述べる。

（世話人：三協立山㈱ 山田公一、横浜国立大学 廣澤渉一、(株)UACJ 水越秀雄、大瀧光弘、(株)TYK 大島智子）